

1930年代に大型プレス機が導入されてジッポの角型スタイルに変化が生じる。四隅が丸みを帯びたのだ。リアルな製作現場を伝える写真はジッポ正規輸入代理店の伊藤商事が1975年にジッポ社を訪ねて渡された一枚。Photo/Courtesy of Ito Shoji, Mr. Akasu

【ジッポー物語】 ZIPPO

「ファーストジッポライター 触らないこと」とジョージ・ブレイズデルの書きの札がついている。現在ジッポー/ケースミュージアムに展示されている。

グレートブランド物語

Photo/WPP Collection
Great Brand Story

第14回：文と構成 / 河村喜代子



1933年にオリジナルジッポーが製造販売される。その前年に輸入販売されたライターとは姿もかたちも違つがブレイズデルの頭に「イットワークス」のひらめきをくれた。御曹司だった友人が手にしていたキャップを開けて着火するライターから「ジョー・ブレイズデルのジッポー」がはじまりその物語は21世紀へとつづいている。

ジッポーはオイルライターである。ジョージ・ブレイズデルという人物が1932年にジッポー社を興したところからはじまる。場所はアメリカのペンシルベニア州フレッドフォード。アレゲーニー山脈に包まれた緑豊かな小さな町だ。この町のサウスストリートにあったベンヒルカントリークラブのテラスで、ブレイズデルは夏のある晩、ひとりの友人と行き会つた。彼が使っていたライターをきつかけにして、77年後の現在も世界中で流通するジッポーへとつながっていく。その友人は1932年というアメリカが大不況下の時代でも、ジャズエイジの余韻のなかで暮らすことができた恵まれた境遇にあった。ただし手にしていたライターだけは安物で、それがブレイズデルの興味を引くことになった。それを指摘すると、「イットワークス」と友人は答えた。とされる。「火はちゃんとつく」とくらしいの意味だ。ジッポーがその後、長らくキャッチフレーズにした言葉である。「火はちゃんとつく」をきつかけにして、ブレイズデルはオーストリア製のライターを、そのクランクのロンクの輸入販売に乗り出す。取扱代理店のオー

ストリアのゲブルダー・サイモンからサンプルを取り寄せる。試験販売用としてさらに50ドル分の注文を1933年1月に出してやる。このときライターの名前はジッポーと決まっていた。紙製のデイスブレイクケースを用意し、扇風機の前に置かれたライターが風に吹かれても消えない様子を描いた。ジッポーにはなじみ深いウィンドブルーフの図柄だ。けれど肝心のライターはだいたい違っている。第一にキャップは取り外し式で、紛れもなくオーストリアの輸入品。ライターを描いたものは、後年ファーストジッポーは何年製かをめぐって問題が起きる。改めて整理しておこう。会社設立は1932年である。商品名はジッポーだった。その名前がオーストリアからの輸入ライターを最初に販売した。自社製作に乗り出したのは1933年からである。そのときの名前もジッポーである。というわけでジッポーの名前で販売されたライターは1932年にあった。自社製品第十号のジッポーライターということとなり、933年である。輸入販売されたジッポーライターはキャップが着脱式だった。それに対して自社製造品第一号は、このジッポーの使い勝手を左右する大きな変更点である。道具の機能と呼べる部分に加えられた改良だ。現在のジッポーに直結するかたちでもある。



1936年3月3日付けで取得した特許証書。上の手紙は1933年からオリジナルジッポライターが作られたことを示す重要なもの。1933年1月9日の日付だ。

1933

FIRST MODEL

ファーストモデル誕生時にはこれほどの長寿になるとは想像しなかったはずだ。

特許申請中だった1933年のオリジナルジッポーではキャップの開閉をするカム用スプリングがコイル式になっていた。外見は現行品にくらべて全体に角張っており背も1/4インチ高かったことがわかっている。



自社製品第1号となったオリジナルジッポーのボトム。



1933年のオリジナルジッポーから基本的なカタチは不変だが、道具の機能に関わる改良は繰り返される。個人所蔵品。

"ZIPPO" is the last word in "Windproof" lighters. It will operate anywhere, in any weather, under any conditions, in any position, and at any time. It is the only lighter that has been proved to last a year or more in any weather.

"ZIPPO" is not a toy. "ZIPPO" was conceived and has been produced only after a most exhaustive study of the essential features that are found in other lighters.

"ZIPPO" has done away with the dread of constant filling and wick adjustment.

"ZIPPO" does not require that adjustment at any time. Once a light is lit in "ZIPPO" it requires no attention until it is completely dead.

"ZIPPO" is easily filled. A simple operation requiring only one second makes "ZIPPO" ready to receive its supply of fuel.

"ZIPPO" is of such construction that it cannot collect pocket dirt. And, by working parts are always clean.

"ZIPPO" is easily operated with one hand. Just open the top, turn the wheel with your thumb and you will find a flame without the least flicker or a sign of smoke.

"ZIPPO" adds an special feature. All it wants is fair treatment and in turn it will give complete satisfaction.

GUARANTEE

We believe "ZIPPO" to be the best lighter in the world. Every part is made of material required for its manufacture. We will replace without charge any parts that may prove defective.

Manufactured by
ZIPPO MANUFACTURING CO.
BRADFORD, PA.

DIRECTIONS FOR FILLING

We recommend your good lighting fluid. Ordinary gasoline will work but we suggest that you use it only on an emergency occasion.

Remove Parts A and B (Fig. 1). This is done by holding Part A in your left hand and pulling on the head (Part 2, Fig. 2) with your right hand. Separate the packing in Part B (Fig. 1). Shake out any surplus fluid and return the case to their original position.

When replacing Parts A and B (Fig. 1) care should be taken to see that packing is within Part B, otherwise the case may lock which requires a nail being placed in head hole to help hand purchase in separating.

IMPORTANT SUGGESTIONS

Before attempting to close lighter always make sure that the case (Part 1, Fig. 2) is in the horizontal position as shown in the cut, otherwise the top cannot be closed.

If cover should not close properly place a strip of machine oil under cam (Part 1, Fig. 2).

"ZIPPO" shines on wind-blown wick for quick flame. This is particularly true after filling or when using lighter indoors.

DIRECTIONS FOR CHANGING FLINTS

Separate Part A and B (Fig. 1) in the same manner as for filling. You will find a small screw in the lower part of Part B (Fig. 1, B-1). Remove this screw and the spring under it. Place a flint in the hole, replace spring and return screw as far as it will go. This is important as the screw head acts as a gauge and if not returned the cover will not close. Return Parts A and B to their original position and the operation is complete. After inserting a new flint, the wheel (Part 1, Fig. 2) may bind and the end of flint may break in direction of wheel. This may be hastened by turning the wheel backward (counter clockwise) a few times.

2008

第2次大戦、ベトナムと過酷な時代を経ていまも「イットワークス」はつづく。

復刻ジッポーは永遠の記念モデルであり、これは1935年製のモデルをゴールドでよみがえらせたもの。インサイドユニットには現在もなおアメリカで製造されていることを示すMADE IN USAの文字がある。



刻まれた数字と英文字Jは2008年10月製を示している。



ヒンジが外側につくのがオリジナルジッポーの特徴。復刻はこれまでも行われておりこちらは2008年版。1935 CC-B 価格6510円

ジッポーがジッポーであることを支えるアンサンブルヒーローはだれか。

ジッポー構成部品は22個。それに加えられる108段階の工程。そしてジッポーが完成する。1933年から現在まで、ジッポーの製作はほぼこの範囲におさまる。ムダなくシンプル。だから故障が少なく、手入れを怠らなければ長く使える。もちろん消耗品の補充は必要だ。オイルとフリントだ。オリジナルから数えて75年目の現在、ジッポー、オイル、フリントの3点がすべて日本で手に入る。すべて純正品である。街角のタバコ屋、スーパーのレジ脇を一度見回してほしい。きつと赤いパッケージが見つかるといい。

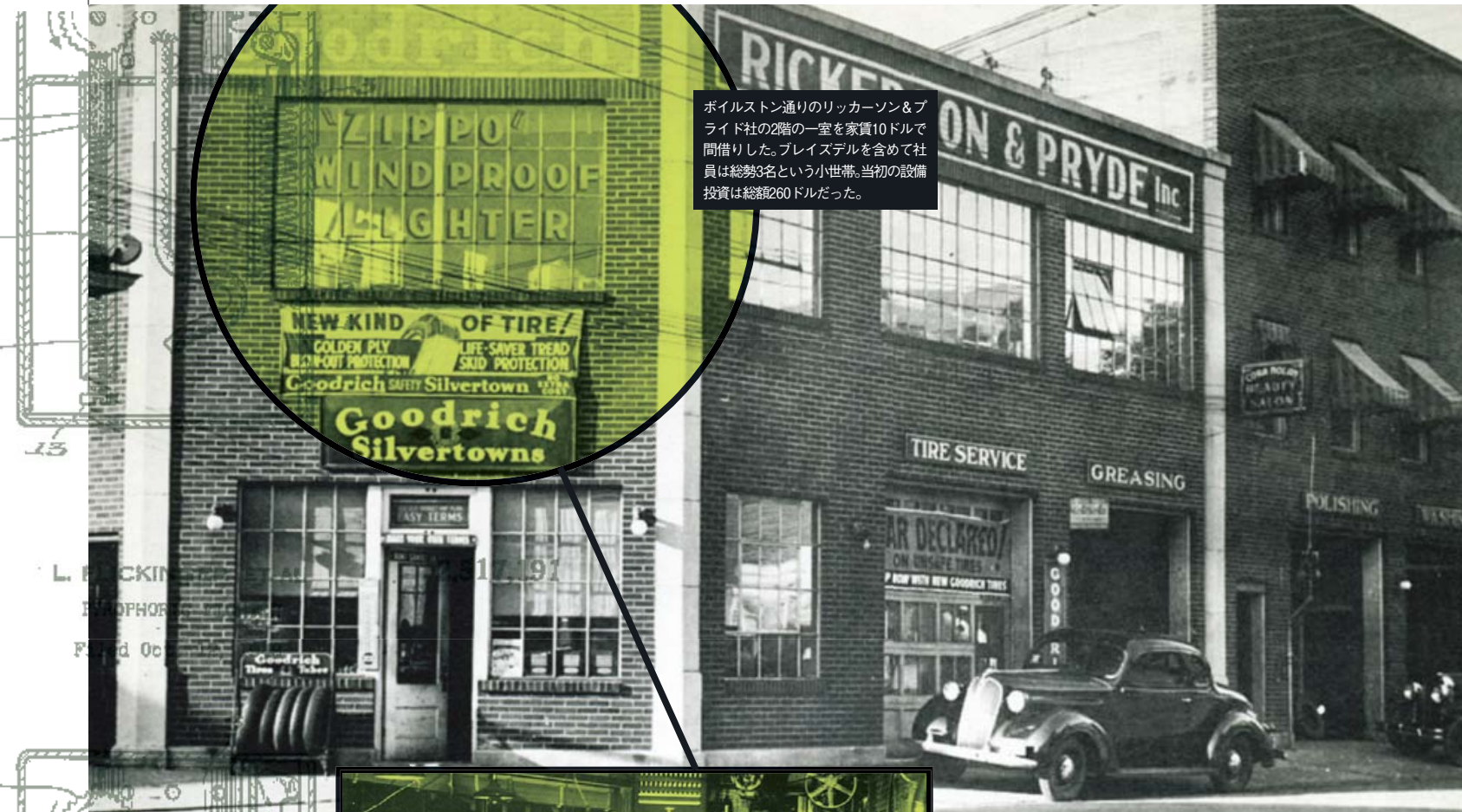
保証書

ご使用前に必ずお読みください

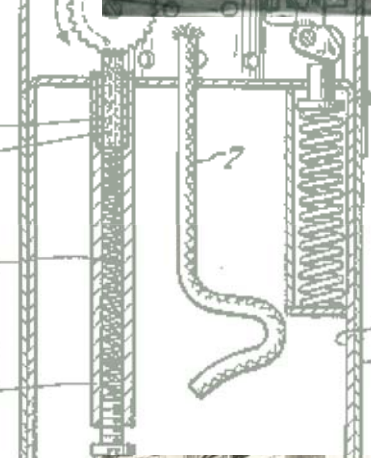
- 保証期間は、本製品の製造日より起算し、1年とさせていただきます。
- 保証対象は、本製品の製造日より起算し、1年とさせていただきます。
- 保証対象は、本製品の製造日より起算し、1年とさせていただきます。
- 保証対象は、本製品の製造日より起算し、1年とさせていただきます。
- 保証対象は、本製品の製造日より起算し、1年とさせていただきます。
- 保証対象は、本製品の製造日より起算し、1年とさせていただきます。

注意

- 本製品の修理は、本製品の製造日より起算し、1年とさせていただきます。
- 本製品の修理は、本製品の製造日より起算し、1年とさせていただきます。
- 本製品の修理は、本製品の製造日より起算し、1年とさせていただきます。
- 本製品の修理は、本製品の製造日より起算し、1年とさせていただきます。
- 本製品の修理は、本製品の製造日より起算し、1年とさせていただきます。
- 本製品の修理は、本製品の製造日より起算し、1年とさせていただきます。



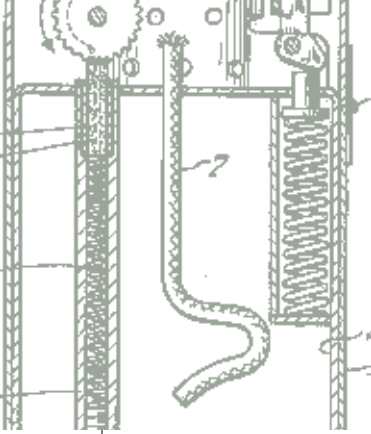
ボイルストーン通りのリッカーソン&プライド社の2階の一室を家賃10ドルで間借りした。ブレイズデルを含めて社員は総勢3名という小世帯。当初の設備投資は総額260ドルだった。



パンチプレスと溶接機械は中古を調達し、ハンダづけは台所用の電気プレートでしのでいた。設備の粗末さを補う熱意だけは無尽蔵だった。販売活動に努力したブレイズデルについて名前がジッポーマン。



自動車工場の2階からスタートした工場は、1960-70年代にはこのように大規模になっていた。そのあいだには第2次大戦や模倣品の流入など困難な時代や状況があった。



1933年というアメリカが不況に苦しむ時代にジッポーは歩きはじめた。

輸入したライターに1ドルの値段をつけてはじめてたセールスは、順調には運ばなかった。使いにくかったキャップは、ヒンジ留めにしようと思った。ここからオリジナルジッポーへの道を進む。自動車工場に間借りした工場とも呼ばない場所です。

82個のライターをつくらせた。ブレイズデルは社長兼たったひとりの営業マンだった。地元のお店を回り、またバスの営業所へ行って運転手たちにジッポーを手渡して歩いた。二週間使って気に入らなければ、返品してください。代金をお返ししな

す」というジッポーの永久保証は、セールス開始直後の1933年から始まった。「火がちゃん」とつくの一文に「つか」なかつたら無料で修理します」が追加された。

オリジナルジッポーは、特許出願図によればカムにコイルスプリングを使っている。特許の認可が下りた1936年には、大きな変更が加わる。キャップと本体をつないでいたヒンジを外側から内側に移動して溶接した。1937年にはカム部分も現在と同じ板バネにした。

ブレイズデルは営業マンであると同時にアイデアマンだった。キャディラックを改造したジッポーカーがある。キャップを開けたジッポーを模し、巨大な炎は着脱式だった。写真で見るだけでもこれは愉快だ。仕事をすることを楽しんでいる。

そんな人物像が浮かぶ。ジッポーにアートワークを載せることもはじめた。最初の図柄はスポーツカー。マッドだった。雑誌エスクァイアに広告も出した。不況でアメリカ全体が苦しむなか、ジッポーも前に向かっていた。

ブレイズデル家の直系7人だけの手に渡された金のシグネットリング。1933の数字入り。製作はティファニー。





BACKPACK
4N B0077. cm: 30x19x41.
Spallacci in rete regolabili. Taschino in rete laterale. Doppia tasca esterna. Scomparto portacomputer con organizer interno e moschettone portachiavi.
Adjustable mesh straps. Side mesh pockets. Double external pocket. Internal notebook pad plus organizer with snap for keys.

4N VOYAGER
Colori: 100 Nero - 200 Blu Navy
Colours: 100 Black - 200 Navy Blue



ジッポーフッショニタリーの2009年秋冬のバッグコレクション。4Mフォードブルーラインはリップストップナイロンを使用し約300~400gと超軽量で折りたたんで持ち歩ける。価格帯5250円~7350円
伊藤商事 ☎03-3562-5811
<http://www.ito-shoji.co.jp/zippo/>



2008-09年筆記具コレクションの新作にはオントリオ、ヘムロック(各価格3675円)、キューバ、コンノート(各価格3360円)がある。ジッポーフッショニタリーの名入れができるモデルにはオイスターなどがある。

Meshannon Pens
Solid brass ballpoint pens with mesh barrels. Available in various colors and finishes. Includes a mesh carrying case.

Oyster Pens
Solid brass ballpoint pens with oyster shell inlays. Available in various colors and finishes. Includes a mesh carrying case.

Cuba Pens
Solid brass ballpoint pens with Cuban motifs. Available in various colors and finishes. Includes a mesh carrying case.

Seneca Pens
Solid brass ballpoint pens with Seneca motifs. Available in various colors and finishes. Includes a mesh carrying case.

Capuga Pens
Solid brass ballpoint pens with Capuga motifs. Available in various colors and finishes. Includes a mesh carrying case.

Knute Pens
Solid brass ballpoint pens with Knute motifs. Available in various colors and finishes. Includes a mesh carrying case.

Connicut Pens
Solid brass ballpoint pens with Connecticut motifs. Available in various colors and finishes. Includes a mesh carrying case.

Ontario Pen
Solid brass ballpoint pen with Ontario motifs. Available in various colors and finishes. Includes a mesh carrying case.

Huron Pen
Solid brass ballpoint pen with Huron motifs. Available in various colors and finishes. Includes a mesh carrying case.

Hamlock Pen
Solid brass ballpoint pen with Hamlock motifs. Available in various colors and finishes. Includes a mesh carrying case.

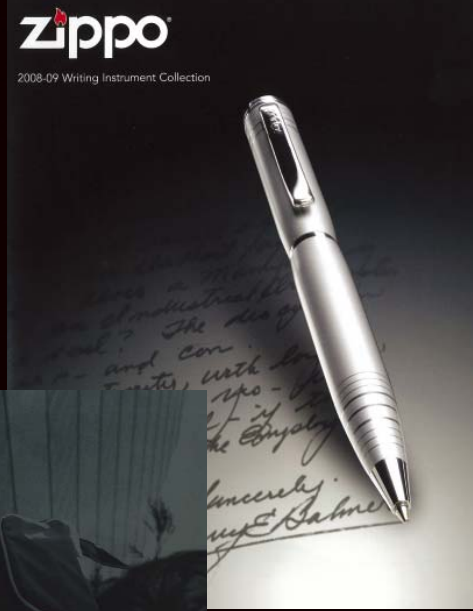
Hide Pen
Solid brass ballpoint pen with Hide motifs. Available in various colors and finishes. Includes a mesh carrying case.

Lighting Pens
Solid brass ballpoint pens with Lighting motifs. Available in various colors and finishes. Includes a mesh carrying case.

Knute Pens
Solid brass ballpoint pens with Knute motifs. Available in various colors and finishes. Includes a mesh carrying case.

Willow Pocket Pen
Solid brass ballpoint pen with Willow motifs. Available in various colors and finishes. Includes a mesh carrying case.

1939年から50年代は名入れジッポーフッショニタリーの注文を取って歩くセールスマンがいた時代で、彼らがつかったキットに組み込まれたキーホルダー、ボールペン、ナイフ、メジャーなどはいまではお宝扱いだ。そして現在、独立したカタログが発行されているなかでは、筆記具とバッグが充実の内容をみせる。特に注目すべきはバッグのコレクションで今年の秋冬ものは素材に超軽量の生地を選択してスピード感にあふれるモデルがそろそろ。デザインは常識に縛られない視点があれば、いくらでも新しくなれることを実感させてくれる。それを担当したのはイタリアのバッグメーカーであったジッポーフッショニタリーであり、2004年からアメリカのジッポーフッショニタリー社が直接コントロールにあたる。今年から日本でも発売開始となっている。



交換したり、買い取ったり、情報交換がにぎやかにつづく。会場での一番の関心事は、何年製のジッポーフッショニタリーが1月で最後のGは12月と月を順番に示している。ケースボトムの刻印は、ジッポーフッショニタリーの製造年が関心

を呼ぶことからはじまるとだ。手がかりはジッポーフッショニタリーのボトムに刻まれた製造年マークである。ドット、スラッシュ、バー、数字、アルファベットを組み合わせ

製造年月が記されている。ジッポーフッショニタリーの愛好家たちは、それを読み解く方法を承知している。ちなみにA〜Gまでの12個のアルファベットはA〜Gまで、取り巻く環境は誕生時と変わらないほど困難な状況にある。乗り越える鍵は、デザインにあり、ジッポーフッショニタリーは見ていようだ。

変わらぬジッポーフッショニタリーと変わりつづけるジッポーフッショニタリー

その両方が人を引きつける。

- 1933
- 1934
- 1935
- 1936
- 1937 ~41
- 1938 ~41
- 1941 ~43
- 1943 ~45
- 1946 ~47
- 1947 ~51
- 1951 ~53
- 1953 ~55
- 1955
- 1956
- 1957
- 1958
- 1959

